

問 設計変更における留意事項の定めは

答 ガイドラインで適正化に努めている



田中榮一議員

【工事変更請負契約について】

問 設計変更における留意事項は定めているか。

村長 平成26年6月の改正品質確保法の施行を受け、公共工事の品質を将来に渡って確保するため、建設業の中長期的な担い手を育成・確保することが明記され、計画的な発注・適切な工期設定・適切な設計変更が示されました。こうした背景のもと、県は設計変更に関する運用指針として、設計変更ガイドラインを策定しました。村としては、そのガイドラインに沿って変更等の適正化に努めています。

問 契約変更の手続き(軽微なもの以外)は、必要が生じた都度行っているか。

村長 改正品質確保法の中で「請負契約の当事者が公正な契約を適正な額の請負代金で締結すること」と、発注者の責務として明確にされています。変更の必要が生じた場合は、その都度行っています。

問 安全優先で工事を施工するように指導しているか。

村長 工事中の安全確保については、常に留意し現場管理を行うように指導しています。

【民生児童委員について】

問 民生児童委員に求められる役割は。

村長 急速な少子高齢化と共に、地域には様々な悩みや課題を抱えながら孤立する方々が増加しています。そうした地域住民の身近な相談相手であるとともに、専門機関や福祉サービス等の情報提供や、課題解決するための支援を行います。

す。役割は、「受け止めて・伝えて・見守る」の一言です。

問 求められる課題は。

村長 単身世帯の増加、隣人関係の希薄化、介護保険制度の改正等、支援の困難性や活動量も増加しています。また、活動するうえで関係の深い地区と、個人情報取扱いを含め、どのように協力関係を構築するのかがという課題もあり、毎月定例会を開催し、関係機関からの情報提供や委員同士の情報交換も行っています。委員への期待は大きなものになっている一方で、委員の負担が増していることも事実です。この状況を受け止め、良好な連携や協働関係の構築に努め、活動しやすい環境づくりにも努めていきます。

【村民のスポーツ振興について】

問 「体力年齢向上プロジェクト」と題して行ったスポーツ教室が盛況であったと聞いている。教室の成果は。



岩盤露出により1000万円減額になった災害復旧工事(立の間)

村長 この計画は村のスポーツ推進計画に則って実施したもので、20代〜80代の幅広い年齢の方々から、11回の教室に延べ430人の参加がありました。最終回に実施したアンケート調査結果からも、「実際に体の変化を実感しました。これからは運動を継続してやっていくきっかけになりました」などの感想をいただきました。参加者が集まった要因は、様々な種目を取り入れることにより、多くの

の参加者に運動への興味をもってもらえたことや、アスレチックトレーナーの児玉先生の指導が大きな要因と考えられます。

問 これからの課題は。

村長 運動意識の低い方に、運動の楽しさや面白さを伝えることにより、幅広く参加者を募集していきたいと考えています。